



# 共 育

読書の秋、運動の秋、そして食欲の秋と言われるほど、秋は心も体も活動的になる季節です。しかし、ここ数年この時期に接近する台風は、各地に大きな爪痕を残しています。

日頃から学校では、児童の安全確保に細心の注意を払っています。学校は全体に向けた基本的な心構えは指導できますが、各児童のご家庭によって、環境も違います。例えば周囲の状況やご家族の動向、子どもが一人で過ごす時間の多寡など、それらに応じた話合いは、学校の指導の及ばないところです。今一度、ご家族で「身を守る」行動について話し合われるようお願いいたします。

さて、本号では、子どもの携帯電話の所持について考えてみたいと思います。

小学生から所持する場合は、よほど特別な場合だと考えますが、今後の心構えとして、石川県と石川県教育委員会が提供している「親子でホッとネット大作戦」の資料から抜粋し紹介します。

## <基本的な考え方>

石川県では、平成22年1月「いしかわ子ども総合条例」に、保護者は小中学生には、防災、防犯その他特別な目的を除き、携帯電話を持たせないよう努めるものとしています。

仮に持たせる場合、保護者はフィルタリングサービスを利用するなど適切な対応が必要です。

ゲーム機  
買って〜!

## <ネットにつながるゲーム機や携帯音楽プレーヤーの危険な落とし穴>

ゲーム機や携帯音楽プレーヤーの中には、インターネットに接続できたり、通信機能をつかって友だちとメールをしたりできるものもあり、使用方法を間違えれば大変危険です。ペアレンタルコントロール（使用制限）を設定するなど対策が必要です。



## <本当に必要かどうかの判断を>

子どもにとって、携帯電話やゲーム機器はとても興味をそそられるものです。お家の人の携帯電話を借りて利用したりする場合もあるかもしれません。

しかし、これらは自分が気をつけていてもトラブルに巻き込まれたり、個人情報派生的に流出したりするなど、危険と隣り合わせであることを頭に置いておかなければなりません。例えば、子ども用の携帯電話などは、安全面から必要なと迷われる場合もあるかもしれませんが、家庭の設置電話で代用できたり、家族で帰宅時間や送迎時間を決めておけば、購入するまでもなかつたりする場合があります。

危険回避のつもりが、逆に危険を引き寄せる事態にならないよう、保護者の責任の下の判断をお願いいたします。

なお、11月27日の授業参観では、「親子でホッとネット大作戦」講演会を予定しています。ネット社会に必要な心構えを考えるよい機会になればと思っています。

## 道徳の時間より

5年 「知らない間のできごと」(出典：わたしたちの道徳・文部科学省)

### <読み物資料のあらすじ>

小学校高学年の「あゆみ」は、転校した学校の同級生「みか」にメールアドレスを聞かれ、携帯電話を持っていないことを告げる。そして、自宅の電話番号を書いたメモを「みか」に渡すが、「みか」はその紙を小さく丸めてポケットにつっこむ。次の日、学校では「今度の転校生は前の学校で仲間はずれになって転校してきた」といううわさが広がっていた。

真相は、「みか」が「今度の転校生は携帯電話も持ってない。友だちもすくないようだ。推測だけど。」という内容のメールをクラスメートに流し、それが歪曲されて伝わってしまったのだった。「あゆみ」は、帰りの会で、勇気を出してうわさが間違いであることをみんなに訴える。その後、「みか」は「あゆみ」からもらった自宅の電話番号の紙をきれいに広げ、「あゆみ」の自宅へ電話をする。



### <子ども達の学習の様子から>

本校5年生にとって資料のように小学生が携帯電話を普通に持っているという設定は驚きのようなものでした。この話は、あくまで全国の小学校高学年を対象にした内容になっているため、少し違和感を持ったようです。

授業では、軽い気持ちで流したメールが、転校生の心を傷つけ取り返しのつかないことになってしまうところに焦点をあて、話し合っていました。『本当の親友』をワンフレーズにして、教師が、「もし、自分が傷ついても、相手が謝ったら許して『本当の親友』になれるだろうか?」と問いかけ、考えを深めていました。

### <5年生の感想から>

ほくは親友になれる。わけは悪気があったわけじゃないからです。

ほくは友だちにはなれるけど、親友にはなれないです。別にゆるせるけど、そこまでひどかったらちょっと親友にはなれないです。

誤解されて「何で?」って思って親友にはなれない。(メールを)勝手に流すのも最悪。

本当の親友

わたしだったら親友になれます。わけは趣味もいっしょだし、ゆるせるから。

ほくは親友になれない。たとえば、「みか」と仲直りしても他のクラスの人の誤解は全部とけないと思うから。

わたしだったらなれない。本当のことでもないことを流されたから。今まで信じていたからそれで自分がいじめられたらその子のせいだから。

お互いの多様な考えを交流することで、自分の考えを深めるのが道徳の学びです。道徳の時間に限らず、社会に潜むネットトラブルの問題については、携帯電話の所持の有無とは別に、様々な場面で考えていく必要があると感じています。